

# 農商工等連携事業計画

## 第1回認定事業紹介（近畿6件）

平成20年9月19日  
北陸農政局  
近畿農政局  
近畿経済産業局

地域	福井県 福井市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 001
----	---------	-----	------------	------	--------------

事業名	棗(なつめ)と天然温泉水を組み合わせた、 棗天然飲料水、棗天然健康茶などの開発及び販売
-----	--

連携体	中小企業者：(株)シーロード(製造業)
	農林漁業者：(有)棗の里農産(農業)
	連携参加者：畑製紙(株)(製造業)、ナック・ケイ・エス(株)(製造業)

サポート機関等	(財)ふくい産業支援センター、福井県食品加工研究所、地域活性化支援事務局
---------	--------------------------------------

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

(株)シーロードは地域の活性化をテーマとして(有)棗の里農産が生産する「棗(なつめ)」を原料に「なつめエキスなど」の製造販売を手がけてきたが、高付加価値商品、地域ブランドの創出を目指し当事業での連携を開始した。また畑製紙(株)が製造している天然温泉水「越前萬松の水」を活用、ナック・ケイ・エス(株)が持つ全国販売ネットを活用する形で連携に参加することとなった。



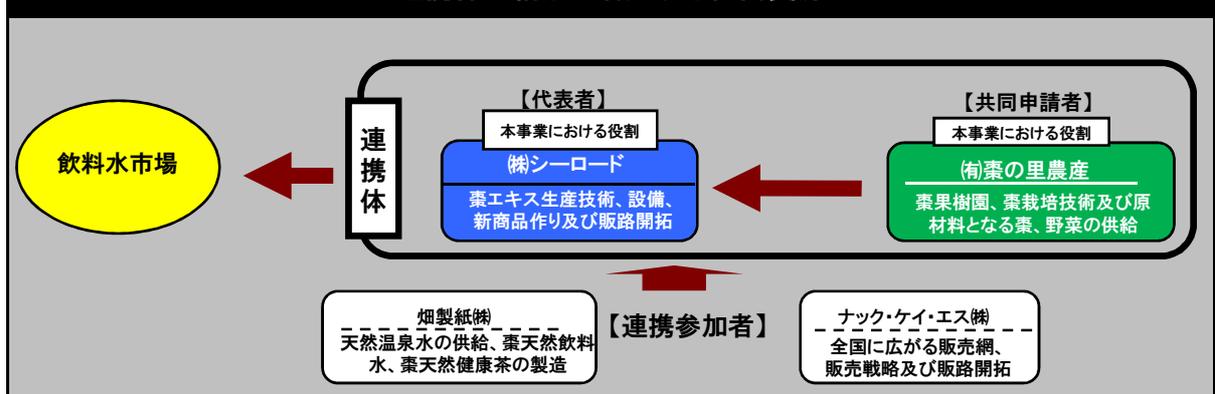
#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

原料となる「棗」は漢方薬に多用されるように栄養価は高いが、国内では殆ど栽培されず唯一(有)棗の里農産が農園を持ち生産している。

この棗とPH値の高い天然温泉水を組み合わせ、自然にこだわった「美味しく飲みやすい」「安心、安全」な新商品「棗天然飲料水」「棗天然健康茶」などの商品化、市場開拓を行う。



### 連携体の構成と活用する経営資源



### 期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高 4,080万円(平成25年度)
- ◆本連携に伴う新規雇用創出者数 5名(平成25年度・連携体全体)
- ◆地域ブランド「なつめ」の確立
- ◆遊休農地、放棄農地の有効活用 22,000㎡(平成25年度)

### 代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):株式会社シーロード  
(福井県福井市小幡町7-5-1)
- ◆電話番号: 0776-85-7785
- ◆FAX番号: 0776-85-7085
- ◆E-mail: postmaster@nacks.co.jp
- ◆ホームページ: <http://www.nacks.co.jp>

地域	滋賀県長浜市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 002
----	--------	-----	------------	------	--------------

事業名	SLT発芽技術を用いた滋賀県産大豆商品の開発製造販売事業
-----	------------------------------

連携体	中小企業者：(株)シードライフテック(製造業)
	農林漁業者：農事組合法人ダイノウ(農業)
	連携参加者：高島市、京都大学農学部農学研究科、大沢興業(株)(不動産業)

サポート機関等	(財)滋賀県産業支援プラザ、地域活性化支援事務局
---------	--------------------------

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

豊富な経験と高い技術で農産物を生産する農事組合法人ダイノウが高い栽培技術により栽培する滋賀県産大豆を、(株)シードライフテックが所有する※SLT発芽技術により生産された「発芽大豆」と、それを粉末加工した「発芽大豆粉」を新商品として販売する。

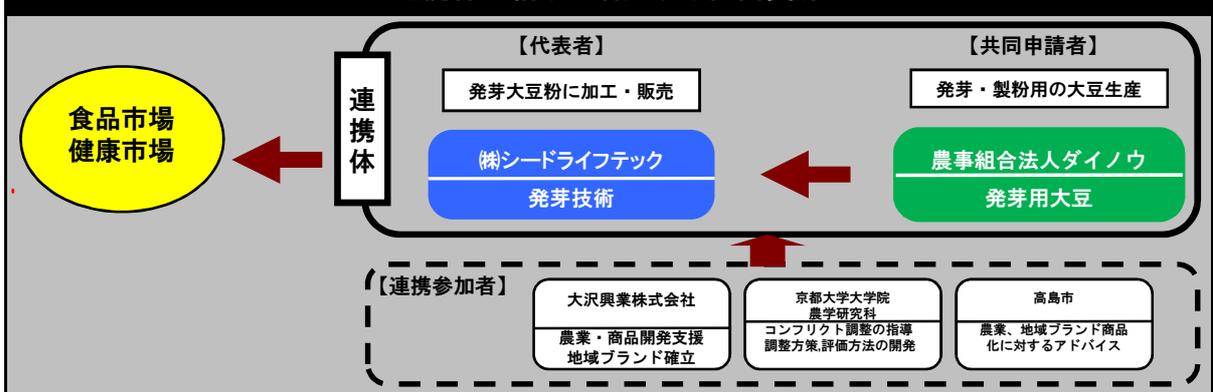
※すべての種子や穀物に応用できる発芽技術。新規性が高く注目されている。



#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

この新商品は従来品の一般大豆や大豆粉に比べて、香り、味(旨み)、食感に優れ、食物繊維やイソフラボン、ペプチド等の成分も豊富で、分子サイズが小さくなるため吸収もよい。また味噌醤油等の製造時の酵母発酵時間が短縮されるなど、最終食品製造の効率化にも繋がる。さらに「発芽大豆粉」においては粒度も従来品より微粉末にすることができると、吸収性向上や新食感食材の提供も可能となる。

### 連携体の構成と活用する経営資源



<h4>期待される地域経済への効果等</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新商品の売上高8,000万円(平成25年度)</li> <li>◆本連携に伴う新規雇用創出者数15名(平成25年度・連携体全体)</li> <li>◆近江ブランド「発芽大豆シリーズ」の確立</li> </ul>
---

<h4>代表企業等の連絡先</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆代表者(所在地):株式会社シードライフテック (滋賀県長浜市田村町1281-8)</li> <li>◆電話番号:0749-53-1588</li> <li>◆FAX番号:0749-53-1588</li> <li>◆E-mail:customerinfo@indivi-wine.com</li> <li>◆ホームページ:http://www.indivi-wine.com/slt/</li> </ul>
--

地域	滋賀県 草津市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 003
----	---------	-----	------------	------	--------------

事業名	青花の有効成分を抽出・粉末化した「青花粉末」の食品開発、製造及び販売
-----	------------------------------------

連携体	中小企業者：青花食研(株)(製造業)
	農林漁業者：(有)クサツパイオニアファーム(農業)
	連携参加者：中村農園(農業)、(株)水谷実商店(農業)

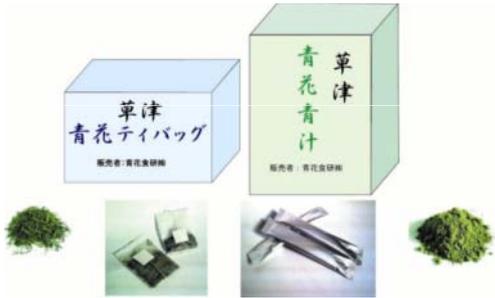
サポート機関等	(財)滋賀県産業支援プラザ、地域活性化支援事務局
---------	--------------------------

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆**連携の経緯**  
 青花食研(株)は、最近の研究で草津市の市の花であるツククサ科の「青花」に食後の血糖値上昇を抑える有効成分が含有されることに着目。農業者である(有)クサツパイオニアファームと野菜や水稻で培った無農薬・有機栽培農法を青花に活用することで合意。両者の連携により、有効成分を多く含む安全・安心な青花の生産供給を可能とし、さらに新規の乾燥技術を駆使することで、青花の葉緑素を残した青花緑色粉末を製造。青花を原料とした新たな商品開発に取り組む。



◆**新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力**  
 本事業で新たに開発する商品は、青花食研(株)の親会社が取得した特許(血糖値上昇抑制食品・機能性食品)を活用し、青花の有効成分を損なわず粉末に加工したものであり、緑色で味も抹茶の様にうまみが備わっており、他に見られない商品である。  
 既存の青花関連商品の販売店や商品(青花茶)の共同開発を行う企業の関連会社である大手健康食品メーカーの販路等を活用し、トレーサビリティを取り入れた安全、安心な健康志向食品としての市場展開を行う。



### 連携体の構成と活用する経営資源



<p><b>期待される地域経済への効果等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新商品の売上高 6,400万円(平成24年度)</li> <li>◆本事業に伴う新規雇用創出者 35名(平成24年度・連携体全体)</li> <li>◆地域ブランド「青花」の確立</li> <li>◆休耕田の活用</li> <li>◆青花畑が新たな観光名所として集客が見込める</li> </ul>
--

<p><b>代表企業等の連絡先</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆代表者(所在地): 青花食研株式会社 (滋賀県草津市野路東1-1-1)</li> <li>◆電話番号: 077-562-1474</li> <li>◆E-mail: nishigaki@spirulina.co.jp</li> </ul>
---

地域	兵庫県 豊岡市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 004
----	---------	-----	------------	------	--------------

事業名	豊かな文化・地域・環境づくりを目指す豊岡市の「コウノトリ育む農法」による米粉を用いた食品の開発・製造・販売
-----	---

連携体	中小企業者：丸萬中源(株)(製造業)
	農林漁業者：たじま農業協同組合
	連携参加者：

サポート機関等	(財)ひょうご産業活性化センター、地域活性化支援事務局
---------	-----------------------------

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

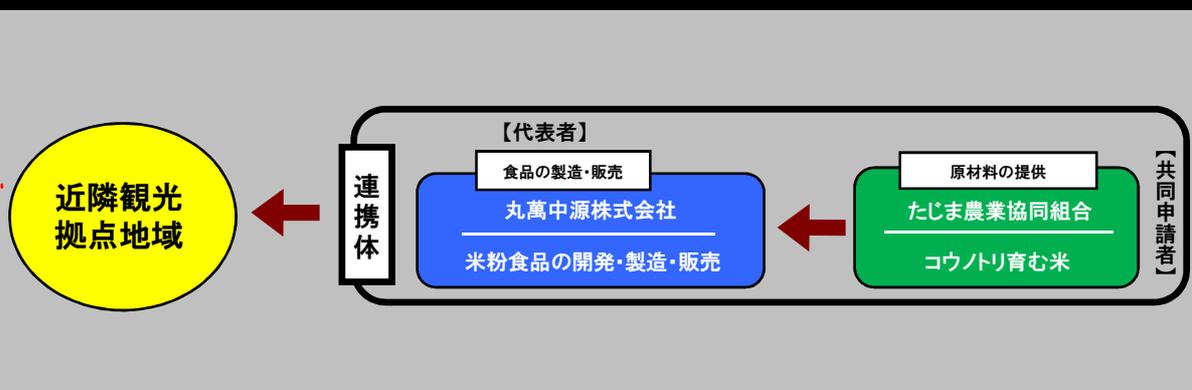
豊岡市ではコウノトリを自然環境と経済が共鳴するシンボルとして、自然の部分である人間が、全体である自然環境を生き生きと活力溢れる本来の自然に復活させていき、その過程で経済活動を活性化し、自然と経済と人間が共生する新しいビジネスモデルを構築しようとする、「豊岡市環境経済戦略」を策定している。その中核となる活動として、種々の工夫でコウノトリの餌場となる水田を増やす「コウノトリ育む農法」の普及に、たじま農業協同組合は力を注いでおり、この農法で作られたお米は安全・安心なお米として評判を呼んでいる。丸萬中源(株)は地元豊岡の食品製造・卸小売業であり、豊岡におけるコウノトリの野生復帰活動と、「コウノトリ育む農法」の活動に共鳴して、連携して規格外米を有効活用した新商品の開発を行う。



#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

原料となるコウノトリ育む農法で作られたお米は、栽培履歴のはっきりした、無農薬、減農薬、無化学肥料のお米で食味良く安全安心なお米である。これを加工した麺や団子などの新開発商品も無添加で、素材のおいしさをアピールし、豊岡市の名産品として、市場開拓を行う。

### 連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等
◆新商品の売上高 1.1億円(平成25年度)
◆未利用農産物の有効利用
◆コウノトリ育む農法の普及拡大
◆地場産業の活性化
◆豊岡市地域ブランド商品の創出

代表企業等の連絡先
◆代表者(所在地):丸萬中源株式会社 (兵庫県豊岡市上佐野1791)
◆電話番号:0796-23-7222
◆FAX番号:0796-23-7227
◆E-mail:matui@marumannakagen.com

地域	奈良県御所市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 005
事業名	カラハリスイカを原料とした新健康食品の開発・製造・販売				
連携体	中小企業者：田村薬品工業(株)(製造業)				
	農林漁業者：奈良県農業協同組合				
	連携参加者：(株)植物ハイテック研究所(農学研究所)				
サポート機関等	奈良県、(財)奈良県中小企業支援センター、地域活性化支援事務局				

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

田村薬品工業(株)は、自社内に薬草園を設けるなど未来にチャレンジする健康開発企業として新製品の開発に取り組んでいる。その中で、アフリカ原産のカラハリスイカと出会い、豊富に含まれる天然シトルリンを素材とする健康食品の商品化を行う。

大和スイカの生産拡大と遊休農地活用を進めていた奈良県農協は、ノウハウを活かして、原材料となるカラハリスイカの生産を担当し連携体を構成する。

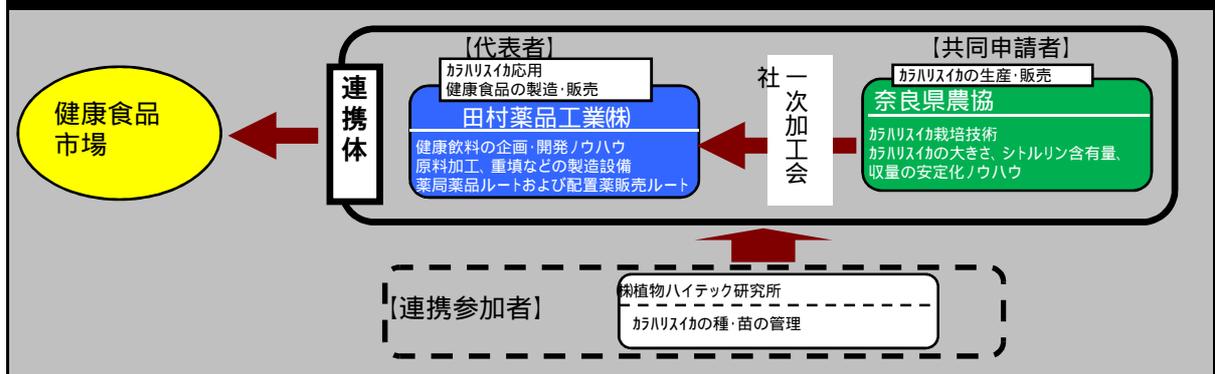


#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

カラハリスイカは、天然シトルリンを多量に含む。これは抗酸化作用に富み、合成シトルリンに比し10倍の抗酸化作用を持つ。これを原料とした、機能性ドリンク、清涼飲料、固形剤を、「カラハリスイカ」ブランドの新健康食品群として商品化する。カラハリスイカは、ボツワナ共和国の農務省と日本で唯一、奈良先端科学技術大学院大学が契約を交わし、共同研究を行った素材である。同大学のベンチャー企業である(株)植物ハイテック研究所が連携体参加者となり、田村薬品工業(株)が、自社の販路を活用し、健康志向で注目されているシトルリン応用商品分野において、“オンリーワンの健康食品”として市場展開していく。



### 連携体の構成と活用する経営資源



### 期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高 3.5億円(平成25年度)
- ◆奈良県の新農産物『カラハリスイカ』の創出
- ◆休耕地の解消(農地有効活用)
- ◆地元雇用15人の増加
- ◆健康ブランド『カラハリスイカシリーズ』の確立

### 代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地): 田村薬品工業株式会社  
(奈良県御所市西寺田50)
- ◆電話番号: 0745-66-0381
- ◆FAX番号: 0745-66-1840
- ◆E-mail: market2@tamura-p.co.jp
- ◆ホームページ: <http://www.tamura-p.co.jp>

地域	和歌山県伊都郡 かつらぎ町	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	5 - 20 - 006
事業名	和歌山産の完熟柿を加工した新健康食品の製造販売				
連携体	中小企業者：築野ライスファインケミカルズ(株)(製造業)				
	農林漁業者：紀北川上農業協同組合				
	連携参加者：				
サポート機関等	(財)わかやま産業振興財団、地域活性化支援事務局				

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

紀北川上農協の管内は、柿の生産量が約2万2千トンあり、質、量ともに日本有数の産地である。しかし、青果として規格外品等の理由で出荷不可となる柿の有効活用策が望まれていた。

築野ライスファインケミカルズ(株)は地元の食品・医薬品原材料の製造メーカーであり、自社が持つ食品加工技術や成分抽出技術を用いて新商品の開発・製造・販売を連携して行うこととなった。



#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

完熟させた完熟柿を原材料とした2種類の新健康食品の製造・販売を行う。

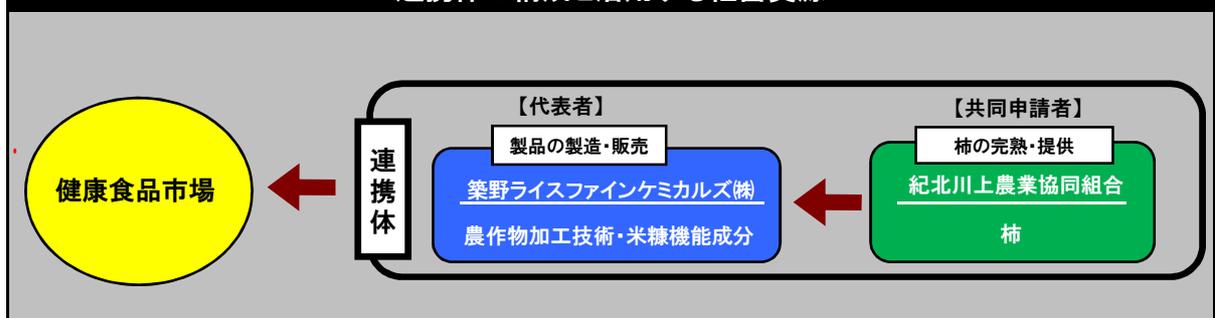
①完熟柿と、同じ和歌山名産品のみかんのジュースとを複合加工した「完熟柿・みかんジュース」

②柿の栄養成分に米糠の機能成分とミネラルを付加し、新規な金属錯体化技術によりミネラルの吸収を高めた「完熟柿ゼリー」

当初は名産品として展開し、和歌山産完熟柿の美味しさと健康イメージを浸透させブランド化していく。



### 連携体の構成と活用する経営資源



### 期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高・・・2.4億円(平成25年度)
- ◆未利用農産物の有効利用
- ◆柿の消費拡大
- ◆地場産業の活性化
- ◆和歌山県新地域ブランド商品の創出

### 代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):築野ライスファインケミカルズ株式会社  
(和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2283)
- ◆電話番号:0736-22-0061
- ◆FAX番号:0736-22-1061
- ◆E-mail:r-d@tsuno.co.jp
- ◆ホームページ:http://www.tsuno.co.jp